

### 3 連続立体交差事業（南海本線・南海高野線）の推進について

【提案・要望先】 国土交通省

堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

踏切除却による交通渋滞の解消及び安全性の確保などのために、連続立体交差事業（南海本線・南海高野線）の推進に必要な予算を十分に確保すること。

#### 【現状と課題】

##### 《南海本線連続立体交差事業》

- ・高架化に向けての仮線の敷設を早急に達成するために、集中的な予算投下が必要。
- ・浜寺公園駅（旧駅舎）の曳家が完了。連立事業を契機として、**旧駅舎を活用した市民協働のまちづくりがスタート！**

##### 《南海高野線連続立体交差事業》

- ・踏切事故や交通渋滞の解消及び本市の中心市街地の活性化に大きな役割を果たすために、早期事業化に向けた調査・検討が必要。
- ・堺市南海高野線連続立体交差事業鉄道構造形式検討委員会による提言を踏まえ、経済性や周辺環境に配慮した工法等について具体的な比較検討を実施中。

#### 連続立体交差化のメリット

○踏切を除却し、交通渋滞の解消及び安全性の確保！（交通渋滞、踏切事故がゼロに）

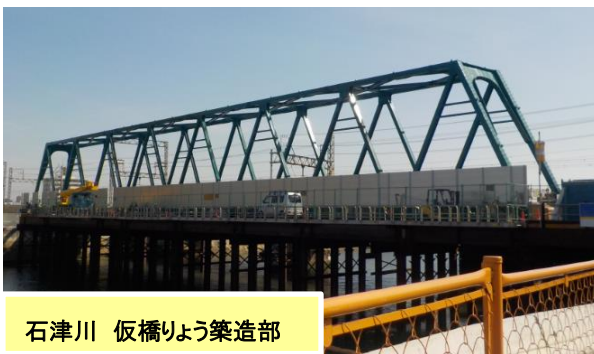
○快適な駅利用の実現！

○市街地の活性化！

南海本線：旧駅舎保存活用による市民協働のまちづくり

南海高野線：駅前交通広場の再整備による、交通結節点としての機能強化、  
駅周辺の道路交通の円滑化

#### ◆南海本線連続立体交差事業



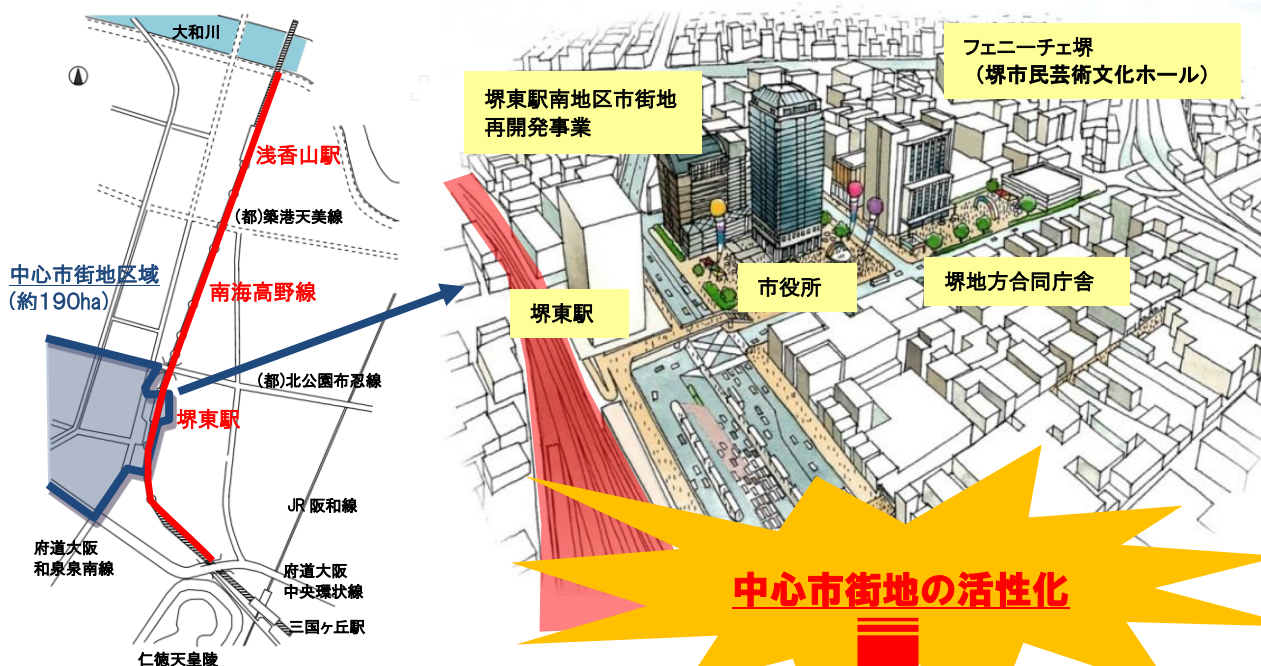
浜寺公園駅(旧駅舎)

カフェ&ギャラリー

試験活用開始

**事業費の安定的な確保が不可欠！**  
**国庫補助金の確保が困難となれば、**  
**事業進捗が遅れるとともに、**  
**諏訪ノ森駅(旧駅舎)活用開始時期に影響大**

## ◆南海高野線連続立体交差事業



【事業区間  L=約 3.0km】

**本市の玄関口としてふさわしい  
まちづくりに大きく寄与！**

平成 29 年度 (2017 年度) 着工準備補助制度へ移行  
平成 30～31 年度 (2018～19 年度) 予備設計 (側道、駅前広場等関連事業)、  
環境影響評価実施、都市計画素案作成  
2020 年度 都市計画決定 (目標)

## ◆事業費及び国庫補助額

南海本線 連立	平成 29 年度 社会資本整備総合交付金	平成 30 年度 社会資本整備総合交付金 (交通拠点連携集中支援事業)	平成 31 年度 (見込額) 社会資本整備総合交付金 (交通拠点連携集中支援事業)
<b>事業費</b>	1,485,268 千円	1,770,495 千円	2,898,000 千円
<b>国庫補助額 (要望額)</b>	816,897 千円 (1,479,711 千円)	973,772 千円 (1,760,000 千円)	1,593,900 千円

南海高野線 連立	平成 29 年度 連続立体交差費補助	平成 30 年度 連続立体交差費補助	平成 31 年度 (見込額) 連続立体交差費補助
<b>事業費</b>	110,000 千円	250,000 千円	156,000 千円
<b>国庫補助額 (要望額)</b>	55,000 千円 (57,500 千円)	125,000 千円 (140,000 千円)	78,000 千円

## 【本件に関する連絡先】

建設局 連続立体推進課長 金田 幸治 (TEL:072-228-7573)